

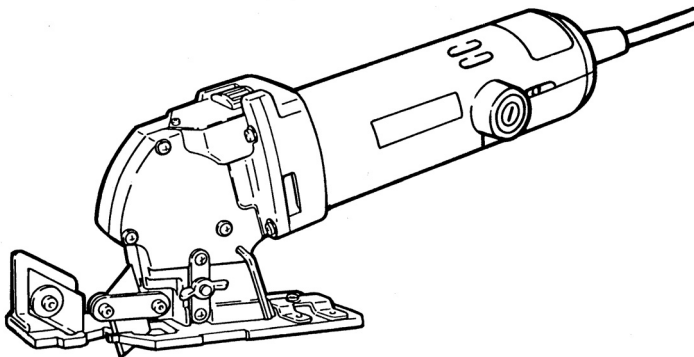
HiKOKI

ナイフカッタ

CK 12

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
ナイフカッタの使用上のご注意	5
各部の名称	7
仕様	7
標準付属品	7
別売部品	8
用途	9
作業前の準備	10
ご使用前に	11
切り方	13
刃物の取付け・取りはずし	14
カッターナイフ替刃について	17
刃物について	18
保守・点検	19
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
 - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。

警告

⑱ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

ナイフカッタの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ナイフカッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② **必ずアース（接地）してください**
故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。
(詳細は 10 ページの「1. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。)
- ③ **刃物の取扱いには十分注意をしてください。**
刃先は鋭く研磨されているので、ちょっとした不注意でも、けがの原因になります。
- ④ **カッターナイフ替刃は、必ず「3 枚刃」の状態に折って使用してください。**
カッターナイフ替刃を折らずに長いまま、または、指定の長さよりも長くして、本機に取付けると、けがの原因になります。カッターナイフ替刃の折り方の詳細は、17 ページの「カッターナイフ替刃について」の項をご参照ください。
- ⑤ **使用中は、本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑥ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑦ **誤って落としたり、ぶつけたときは、刃物や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑧ **継ぎ（延長）コードを使用するときは、アース線を備えた 3 心キャブタイヤケーブルを使用してください。**
アース線のない 2 心コードですと、感電の原因になります。

⚠️ 注意

- ① 刃物や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

- ② 運転中、刃物や刃物取付部には触れないでください。

刃物や刃物取付部の動きは小さいですが、触れると、けがの原因になります。

- ③ 運転中は、持ち運びしないでください。

運転中、持ち運びすると、けがの原因になります。

- ④ 作業しないときは、必ずブレードカバーをベースに取付けてください。

ブレードカバーは、身体が刃物に触れるのを防ぐものです。

- ⑤ スイッチを切り、刃物を下側にして置いてください。

ブレードカバーを取付けないで刃物を露出させたまま、横向きに置くとけがの原因になります。

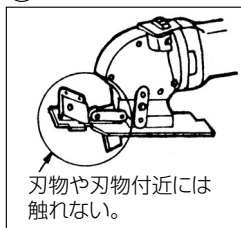
- ⑥ 作業台の端などに置かないでください。

落とすやすく、けがの原因になります。

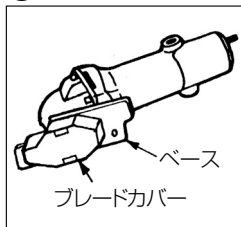
- ⑦ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。

材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

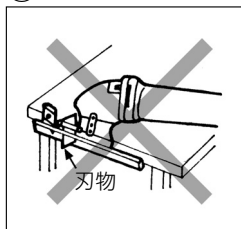
②



④



⑥



各部の名称

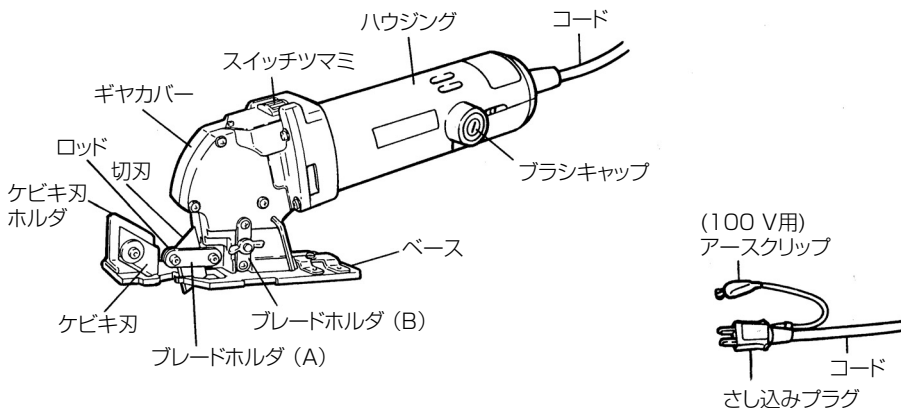


図 1

仕 様

使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V
最 大 切 断 厚 さ	石 ころ ボード 12 mm (切刃を使用)
	シーリングボード 12 mm (切刃を使用)
	普 通 合 板 5.5 mm (合板用ブレードを使用)
無負荷ストローク数	8,000 min ⁻¹ {回 / 分}
全 負 荷 電 流	2 A
消 費 電 力	190 W
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
質 量	1.7 kg (コードを除く)
コ ー ド	アースクリップ付 3 心キャブタイヤコード 2.5 m

標準付属品

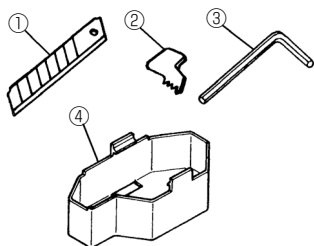


図 2

- ① カッターナイフ替刃 …………… 1 枚
- ② 合板用ブレード …………… 1 枚
- ③ 六角棒スパナ 3 mm …………… 1 個
- ④ ブレードカバー …………… 1 個

別売部品

……………（別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。）

① ガイド(A)セット〔用途〕直線切り用

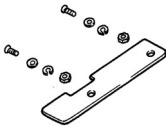
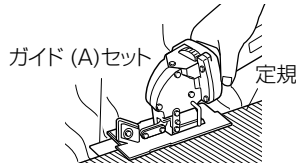


図3-1



〔使用例〕

② ガイド(B)セット〔用途〕直線切り用

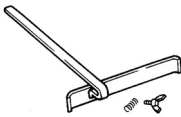
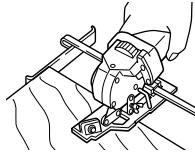


図3-2



〔使用例〕

③ 薄物用アタッチメント

〔用途〕 ゴムなどの柔らかく薄い板材の切断用
（取付け方は、部品に付いている説明書をお読みください。）

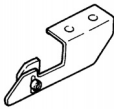
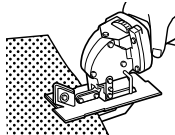


図3-3



〔使用例〕

④ 各種ブレード

ブレードの種類	形状	最大切断厚さ	材 料
カッターナイフ替刃 (10枚) コード No. 993790		12 mm	石こうボード シーリングボード ゴム
合板用ブレード (10枚) コード No. 959796		5.5 mm	普通合板
多用途ブレード (5枚) コード No. 959801		12 mm	普通合板 石こうボード コンクリート型枠材(紙)
		4 mm	雨どい(塩化ビニール製)
硬質材用 多用途ブレード (5枚) コード No. 959804		6 mm	よう業系硬質板

⑤ 石こうボード用窓抜きセット

〔用途〕 コンセントボックス取付けの際の窓抜き作業用
 (取付け方は、部品に付いている説明書をお読みください。)

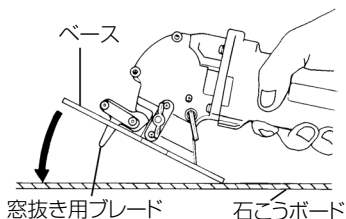
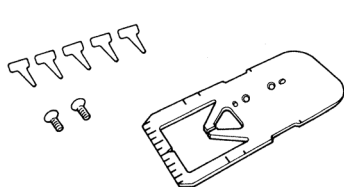


図3-4

〔使用例〕

窓抜きブレード……………ブレード (A) は窓抜きセットに 5 枚付いています。

ブレードの種類	形状	最大切断厚さ	材 料
ブレード (A) (5 枚) コード No. 307473		12 mm	石こうボード
ブレード (B) (5 枚) コード No. 307476		24 mm	石こうボード

用 途

- 石こうボード、シーリングボード、ゴムなどの切断、窓抜き作業……………
 カッターナイフ替刃を折った切刃を使用
- 普通合板、化粧合板などの切断、窓抜き作業……………
 合板用ブレードを使用

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認……………

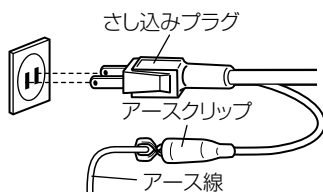
ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下、漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

また、本機は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15 mA 以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースをするときは、下記図のアースクリップをお使いになると便利です。

アースクリップ、アース線は、念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと本機金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。なお、アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがありますので、絶対にしないでください。



2. 継ぎ（延長）コード……………



• 継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm ²	20 m
2 mm ²	30 m
3.5 mm ²	50 m

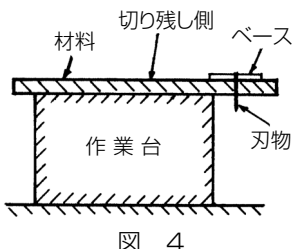
左の表は、使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

必ずアース（接地）できる接地用の 1 心をもつ 3 心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3. 作業台（木製）を用意する……………

⚠ 警告

- 必ず切り残し側を保持するようにしてください。切り残し側を保持していないと、けがの原因になります。



刃物は材料の下面より出ますので、材料は作業台の上ののせて切断してください。

作業台に角材などを利用される場合は、地面の平らなところを選び、角材を固定してください。

作業台がぐらぐらしておりますと危険です。

切断する材料の切り残し側はしっかり押さえておくようにしてください。

この場合材料をバイスで固定するなどしてしっかりと押さえれば安全であり、両手で作業することができます。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

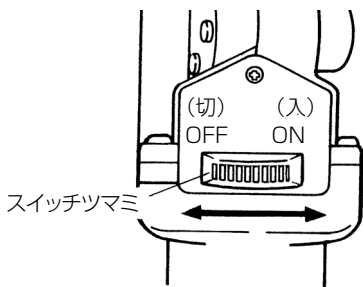


図 5

スイッチが入っているの知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し、思わぬ事故の原因になります。

スイッチはスイッチツマミ(図5参照)をON(入)側に動かすと入り、OFF(切)側に動かすと切れます。スイッチツマミがOFF(切)側の位置にあることを確認してください。

3. 刃物を確かめる……………

工場で組立ての際は、切刃とケビキ刃を取付けてあります。

石こうボード、シーリングボード、ゴムなどを切断するとき

次の(1)、(2)を確かめてください。

(1) 刃物の締付けを確かめる

刃物止めねじ、ケビキ刃止めねじ、ケビキ刃ホルダ止めねじの締付けを確かめてください。ねじは時計方向に回すと締まります。付属の六角棒スパナを使用し点検してください。(図6)

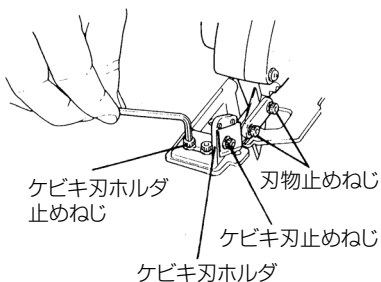


図 6

(2) ケビキ刃を確かめる

ケビキ刃の先端が折れたり、摩耗したりしていないか点検してください。

折れたり、摩耗したケビキ刃を使用しますと切り口の仕上がりが悪くなりますので、新品と交換してください。

普通合板や化粧合板を切断するとき

- ① 切刃では切断できません。切刃を取りはずし、合板用ブレードを取付けます。(14、15ページ参照)
- ② ケビキ刃をベース下面から出ないように、ケビキ刃を移動させ固定します。(16ページ参照)

4. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

切り方

注 刃物が折れる原因になりますので、下記の事項に注意して切断してください。

- 切断中に本機をこじらない。
- 本機をむりに早く送らない。
- あまり小さな曲線に切断しない。
- 急激に切り込んで窓を抜かない。
- ベースを材料から浮かせたり、材料を作業台から大きく突き出して切断しない。材料がばたつき、刃物が折れやすくなります。

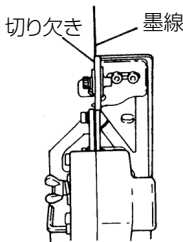


図 7

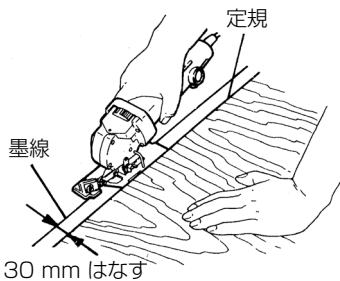


図 8

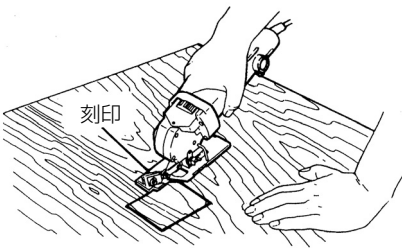


図 9

(1) 材料の上に本体（ベース）をのせます。墨線と刃物とはベース前部の切り欠きで合わせます。（図 7）

(2) 刃物が材料に触れていない状態でスイッチを入れます。材料がばたつかないようにしっかり押さえ、ゆっくり送って切断します。

(3) 正確な直線に切る場合には、図 8 のように適当な材料を案内定規とし、墨線から 30 mm はなしておきます。これにベース側面を軽く当てながら送ります。

(4) **曲線に切る**ときは、直線に切るときよりさらにゆっくり送ってください。

(5) **窓を抜く**ときは、ベース先端を材料にあて、ベース後方を浮かせます。

そして、少しずつ切込んで、切り口を作り、ゆっくり送ります。（図 9）

ベース上面の刻印は、刃物の先端の位置を示します。材料を途中まで切断する場合や窓抜きに便利です。

刃物の取付け・取りはずし

警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。
- 刃物で指などを切らないよう十分注意し、作業してください。

1. 刃物の取りはずし方……………

- (1) 付属の六角棒スパナで、刃物とブレードホルダ (A) を固定している刃物止めねじ 2 本を、反時計方向に回してゆるめます。(図 10)
- (2) ベースの下方より、刃物を持ち、下方にはずします。(図 11)

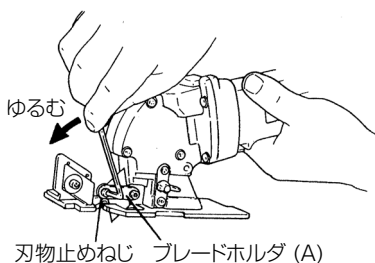


図 10

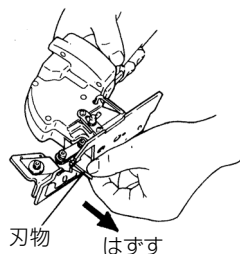


図 11

2. 刃物の取付け方……………

注 • 刃物を取付けるときは、ロッドに付いているごみなどを取除いてから取付けてください。ごみなどが付いたまま刃物を取付けますと、刃物を破損する恐れがあります。

- (1) ロッドには、溝を設けてあります。(図 12)
- (2) 刃物をロッド下方よりこの溝にさし込みます。(図 13)

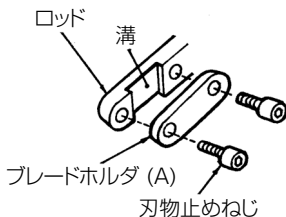


図 12

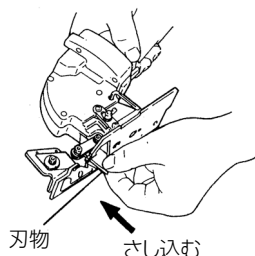


図 13

- (3) 刃物が溝に完全に入っていることを確認した後、切刃の場合は、ブレードホルダ (A) の上面と、切刃の角の部分をお互いに合わせます。(図 14)

また合板用ブレードの場合は、ロッドの上面と、合板用ブレードの上面をお互いに合わせます。(図 15)

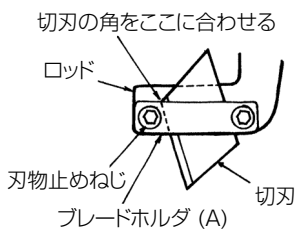


図 14 [切刃の場合]

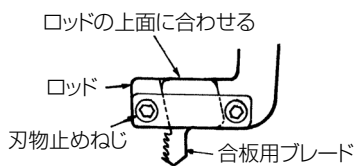


図 15 [合板用ブレードの場合]

注 • 刃物は、溝に必ず完全に入れてください。(図 16 - 1)

刃物が溝に完全に入っていない状態で固定しますと、刃物が折れたり、ロッドの損傷を招く恐れがあります。(図 16 - 2)

- (4) 刃物の位置が決まりましたら刃物止めねじ 2 本を十分に締付けてください。

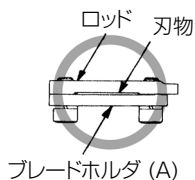


図 16 - 1

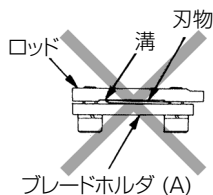
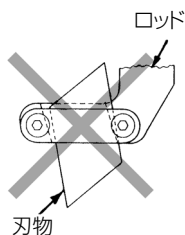
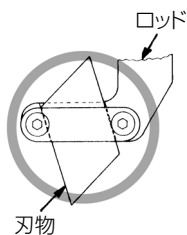


図 16 - 2



3. ケビキ刃の取りはずし方……………

- (1) ケビキ刃を固定しているケビキ刃止めねじを六角棒スパナで、反時計方向に回してゆるめます。(図 17)
- (2) 裏側のナットを押さえながらケビキ刃止めねじを抜きケビキ刃をはずします。(図 18)

注 •ケビキ刃止めねじ、ナットを紛失しないようご注意ください。

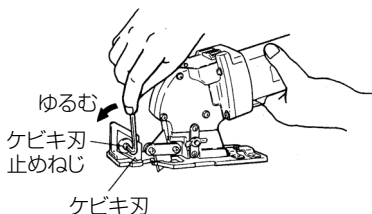


図 17

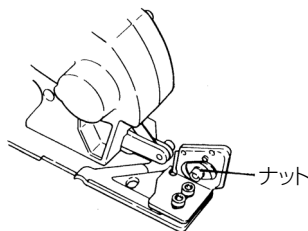


図 18

4. ケビキ刃の取付け方……………

注 •ケビキ刃を取付けるときは、ケビキ刃ホルダに付いているごみなどを取除いてから取付けてください。ごみなどが付いたままケビキ刃を取付けますと、ケビキ刃を破損する恐れがあります。

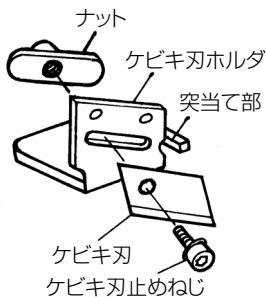


図 19

- (1) ケビキ刃止めねじを、ケビキ刃の穴を通して、ケビキ刃ホルダの長穴にさし込みます。
- (2) ケビキ刃ホルダより突き出たケビキ刃止めねじの先にナットを取付け、ケビキ刃止めねじを軽く締めます。
- (3) ケビキ刃の先端をケビキ刃ホルダの突当て部に突当てた後、ケビキ刃の刃先が、ベース下面より 0.5 mm 程度出るようにケビキ刃を、図 20 の方向に移動させて、調整します。

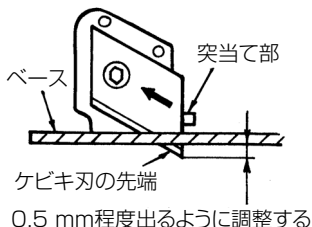


図 20

- (4) 調整後、ケビキ刃止めねじを締め付けます。
- (5) 合板用ブレードを使用する際は、必ず、ケビキ刃がベース下面より出ないように、ケビキ刃を移動させ固定してから、ご使用ください。

カッターナイフ替刃について

警告

- カッターナイフ替刃は、必ず「3枚刃」の状態に折って使用してください。カッターナイフ替刃を折らずに長いまま、または、指定の長さよりも長くして、本機に取付けると、けがの原因になります。

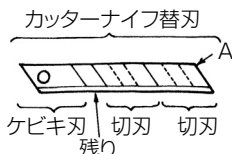
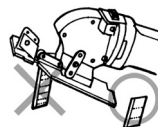


図 21

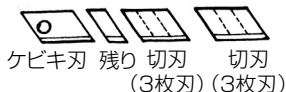


図 22

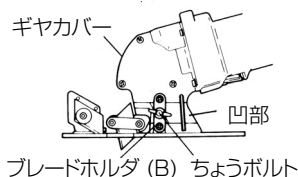


図 23

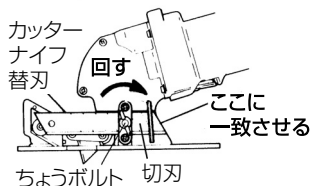


図 24

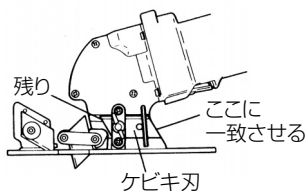


図 25

1. 切刃とケビキ刃の作り方…………

- (1) カッターナイフ替刃から図 21、図 22 のように作られる刃物を切刃、ケビキ刃と呼びます。1枚のカッターナイフ替刃から、切刃が2枚、ケビキ刃が1枚作れます。
- (2) カッターナイフ替刃には、折線が7本ついています。カッターナイフ替刃の端(図 21 の A 側)から数えて3本目毎の折線を折り、3枚刃の状態を切刃として使います。穴のあいた部分は、ケビキ刃として使います。残りは面倒でも、安全な場所にお捨てください。

2. カッターナイフ替刃の折り方……

- (1) ちょうボルトをゆるめ凹部に付属のカッターナイフ替刃をさし込みます。(図 23)
- (2) カッターナイフ替刃の先端を図 24 のようにギヤカバーの端面と一致させます。
- (3) ちょうボルトを、パチンと音がするまで回します。(図 24)
- (4) ちょうボルトを少しゆるめ、カッターナイフ替刃および切刃をとります。(図 24)
- (5) ちょうボルトを1～2回転右に回します。そのままにしておきますと、切断中にちょうボルトがゆるみ、紛失する原因となります。
- (6) ケビキ刃を作る場合には、図 25 のようにカッターナイフ替刃を凹部にさし込み、(3)、(4)と同様の方法で、ケビキ刃を作ります。

刃物について

作業の能率や、仕上げを良くするには、材料に適した刃物を使うことが大切です。

1. 切 刃……………

切刃は、石こうボード、シーリングボード、ゴムなどを切断する場合に使用する刃物です。切断できる材料の厚さは最大 12 mm です。

2. 合板用ブレード……………

合板用ブレードは、普通合板、化粧合板を切断する場合に使用する刃物です。切断できる材料の厚さは最大 5.5 mm です。

3. 市販のカッターナイフ替刃について……………

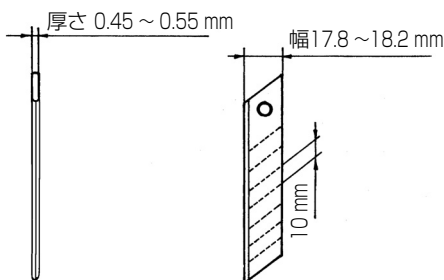


図 26

市販のカッターナイフ替刃でも、図 26 の寸法のものであれば、本機の切刃、ケビキ刃として使えます。

カッターナイフ替刃を折って、切刃・ケビキ刃を作ってください。（前ページ参照）

なお、市販のカッターナイフ替刃で図 26 の寸法のものとしては、オルファ（株）製「替刃（大）」があります。

注 •材料に適した刃物を使用してください。

カッターナイフ替刃を折って作る切刃で、普通合板などを切断しますと、刃こぼれし、すぐ切れなくなります。
また、本体の寿命が短くなります。

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1. 刃物の点検……………

切刃および合板用ブレードの切れ味が悪くなったものをご使用になっておりますと、モーターに無理をかけることになり、また効率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2. カーボンブラシの点検……………

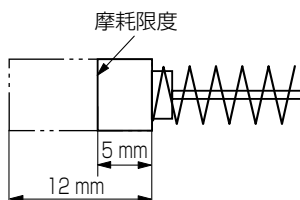


図 27

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度 (5 mm) ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

- 注** •新品と交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。

交換方法

カーボンブラシはマイナスドライバーなどでブラシキャップ (図 1 参照) をはずしますと取出せます。

3. 各部取付けねじの点検……………

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

4. 表面のよごれ清掃……………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面を傷めます。

清掃の場合は、乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

また、本機はギャカバーの下部から少しグリースが漏れることがあります。異常ではありません。この漏れは使用しているうちになくなります。

漏れたときは布などでグリースをふき取ってください。

5. 製品や付属品の保管……………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|---|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○軒先など雨がかったり、湿気のある場所○温度が急変する場所○直射日光の当たる場所○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|---|---|---------------------|

メ 毛

メ 毛

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>